市会議案第２号

国民健康保険の被保険者負担軽減のため、政府に公費増額を求める意見書

上記の議案を提出する。

平成３１年３月２５日提出

吹田市議会議員　　塩見みゆき

同　　池渕佐知子

同　　竹村　博之

国民健康保険の被保険者負担軽減のため、政府に公費増額を求める意見書（案）

国民健康保険は、１９５９年（昭和３４年）に現行法が施行され、国民皆保険制度の実現を目的に市町村による運営が義務化された。

制度開始当初は農林水産業者や自営業者が多く加入していたが、近年は高齢化や核家族化、雇用の不安定化などにより加入世帯の大半が低所得者となっている。加えて、農林水産業者や中小の自営業者の経営環境は悪化しており、加入世帯の平均所得は大幅に下がっている。

また、医療技術の発展と高齢化による医療給付の増大に伴い、既に市町村の国民健康保険の保険料は、協会けんぽと比べて約２倍となっており、住民に重い負担としてのし掛かっている。このような状況の中、保険者である市町村は、保険料を滞納する世帯の収納対策に追われており、保険証に関する制裁措置や預貯金等の差押えなどの強制的な徴収も進められているが、制度に対する住民理解の乖離につながっている。

政府は国民健康保険の都道府県単位化に併せて、国民健康保険制度への公費負担額を年度当たり約３，４００億円増額しているが、これを２０１４年（平成２６年）に全国知事会が求めた１兆円にまで引き上げれば保険料を協会けんぽと同等まで引き下げることができる。

よって、本市議会は政府及び国会に対し、国民健康保険の被保険者負担軽減のため、国民健康保険制度への公費負担額を年度当たり１兆円にまで引き上げるよう、要望する。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

平成３１年３月　　日

吹　田　市　議　会